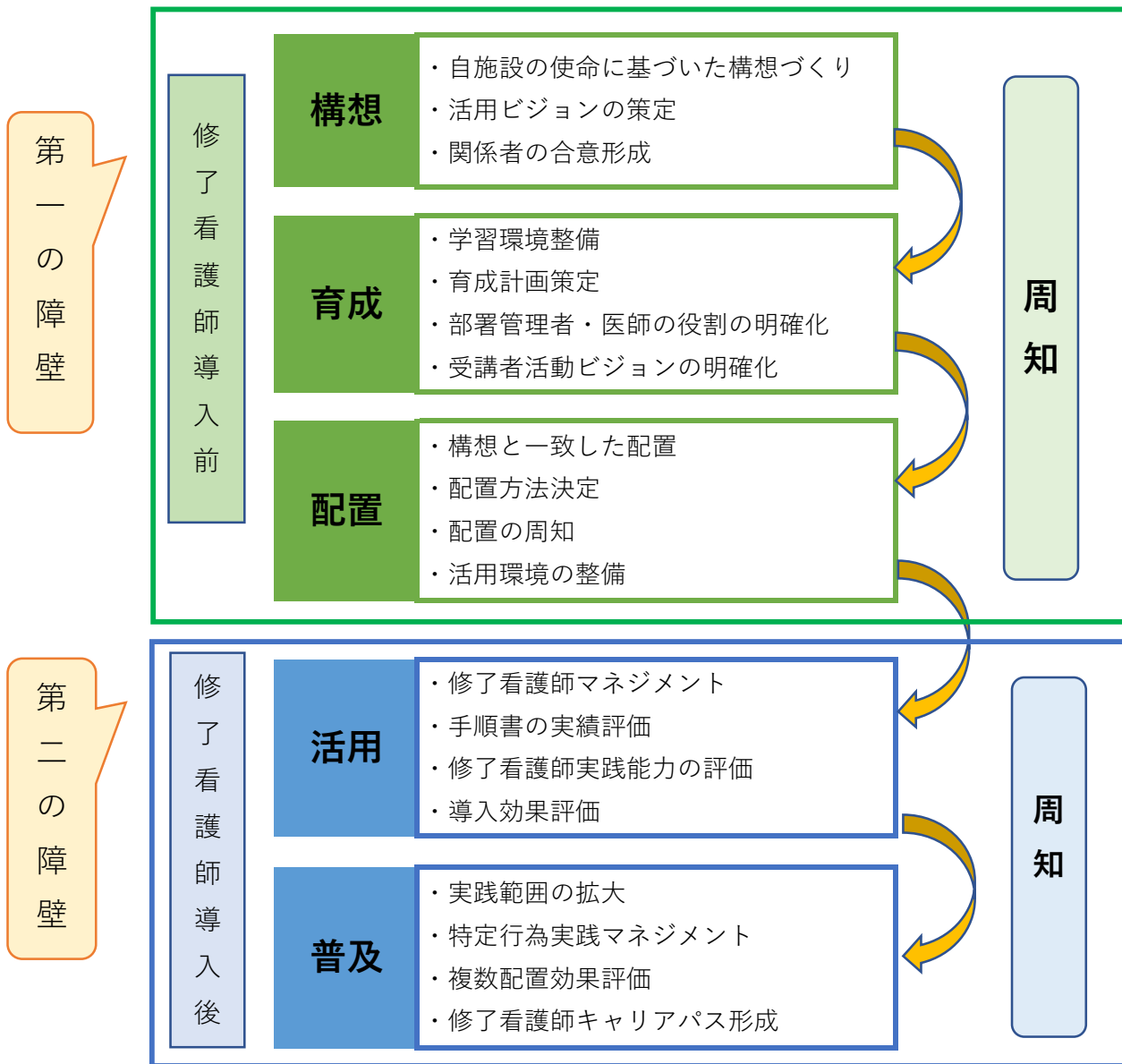


【人材活用のために必要な支援のフロー】

修了看護師の組織的配置活用の発展過程



第一の障壁とは

修了看護師の導入の困難を指す。一人目の修了看護師を育成配置する際の困難、一人目の修了看護師とともに働く同僚が感じる困難、また修了看護師が一人目の患者に特定行為を実施する際の困難など多様な障壁がある。第一の障壁とは組織開発の困難さであるといえる。📌 ガイドP9

第二の障壁とは

修了看護師の複数配置が困難な状態を指す。修了看護師が組織内で十分活用されていないため、修了看護師の増員が難しい状態である。第二の障壁とは役割開発、組織からの役割承認及び、専門職連携の困難さであるといえる。📌 ガイドP9

公益社団法人 岐阜県看護協会の許可を得て掲載2024年5月

岐阜県看護協会 2022年12月作成

(「特定行為研修修了看護師の組織的配置・活用ガイド」(研究代表: 千葉大学教授 酒井郁子氏)を基に許可を得て作成)